学校番号	309

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	「改訂版　プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「高校生の古典文法　七訂版」（啓隆社） 「Key&Point みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30　三訂版」（いいずな書店） 「言語文化の基礎学習　新課程対応　新装版」（尚文出版） 「新版　古典文法習得のための用言活用ノート」（数研出版） 「新版　古典文法習得のための助動詞マスターノート」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、問いに対し自ら考え、考えをクラスメイトと共有し、協働で学びを深めていく活動を行います。積極的かつ意欲的に授業に参加してください。また、古典から現代までの様々な文章を「読む」力を養うとともに、考えを言語化し伝えるための「書く」力も身に付けることを目標としています。考え、言葉にする練習をしましょう。家庭学習課題があり、定期的に提出が必要です。ノートは、板書を書き写すだけでなく、予習プリントを自力で仕上げ、授業で予習内容を確認できるようなものを作ってください。授業では、担当者の発言、ポイントと思われる個所、授業中の気付きやクラスメイトの発言した内容などもノートに記し、授業を再現するための工夫をしてください。

2　学習の到達目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典の作品を読み味わうことによって、古文、漢文に連なる現代語としての日本語を考えることができ、現代の日本人の言語生活との関わりを理解することができる。 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	社会生活における他者との関わりの中で、「書くこと」・「読むこと」の各領域を中心として、伝え合う力を高めつつ自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	言葉のもつ価値への認識を深めようとしている。言葉を通じて積極的に他者と関わったり思いや考えを深めたりしながら、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古典の世界に親しみ、作品の主題について考え、述べる 「宇治拾遺物語」	a：古典の世界においても、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：描かれていることをもとにして、文章の内容や構成、展開などについて的確に捉えるとともに、物語世界における他の登場人物との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：内容を理解し、自ら進んで文章全体を考えて整え、問いに対する自分の感想を述べ、又、他者の意見を踏まえてより良いものにしようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート
	古典を現代の言葉で書き換える 「竹取物語」 「伊勢物語」	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 b[書]：自ら得た理解や思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や語句などの表現を工夫することができる。 c：自分の思いが伝わるように、積極的に古典の理解を深めようとし、又、あらゆる工夫をしてより良いものにしようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート
	古文と現代文を読み比べ、人物像からテーマを読み解く ・『羅生門』 芥川龍之介	a：文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。[書]登場人物についての自分の考えをまとめ、また典拠作品との関係を探り文章化している。 c：粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート

2	日記文学や随筆文学に親しむ 「土佐日記」 「枕草子」	a:作者の置かれた環境に関心をもち、平安日記・随筆文学の特徴を理解している。 b:作者の生活や立場を理解し、文法的知識を駆使してその心情を読み取っている。 c:作品に表れたものの見方や考え方を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート
	漢文の世界を理解するとともに、人間の生き方やあり方への考えを深める。 「漁夫の利」 「虎の威を借る狐」 「先づ隗より始めよ」	ａ：漢文の世界に親しむために、必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解することができる。 筆者の主張に関心をもち、現代と比較している。また、基本的な句法・語法や故事成語の思想を理解している。 b:簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に読み取っている。 c:漢文を正しく訓読できる。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート
3	和歌の表現について考え、お互いの解釈を比較する 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	ａ：序詞や枕詞、掛詞、本歌取りなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。 ｂ［読］：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ｃ：積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、作者の意図を汲み取った上で自分の考えにいかそうとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート
	和漢混交文を読み味わう 「平家物語」	a:音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。 b:登場人物の置かれた状況やその心情を読み取っている。 c:群読を通して登場人物の心情をより深く理解した上で、読み方の工夫に活かしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート 考査	行動の観察 発言 ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間